

夏休みのボランティア活動

峰山学園は学園運営協議会でいただいた意見をもとに、京丹後市社会福祉協議会と連携し、ボランティア活動への参加を推進しています。

今年度の夏季休業中にもボランティア活動参加の依頼があり、峰山中生徒延べ36名が参加しました。

0歳児から小学校低学年とその保護者を対象とした「あそびの広場」では、「感触遊びコーナー」や「工作コーナー」を担当し、子どもたちが楽しめるよう声をかけ優しく接する姿がありました。

「あそびの広場」ボランティアの様子紹介

「あそびの広場」は7/19,7/26,8/2,8/9の4日間、大宮町の織物ホールで開催されました。峰山中学校からは、延べ10名の参加があり、うち2名は4日間とも参加し頑張りました。4日間の来場者数は、こども461名、大人393名の合計854名でした。

「感触遊びコーナー」では、スライム等を作り、ひんやりした感触やぶにゅぷにゅした感触を楽しんでもらいました。

「縁日コーナー」では、ヨーヨー釣りや魚釣りを楽しんでもらいました。

「工作コーナー」では、風船を使ってアンパンマンやバイキンマン等をつくるお手伝いをしました。

金魚すくいに使う「ポイ」の紙を張り替えたり、ヨーヨーを膨らませたり、釣り針をつくったりと大忙し！

まずは、何を作りたいかを聞き、次に風船の色を選んでもらいます。



はじめに説明を受けたり、自己紹介をしたりしました。

「丹後夜の市2026」の準備、片付けのボランティアは、暑い中でしたが、実行委員会をはじめとするたくさんの大人の方々と一緒にテント張りや片づけに頑張りました。

当日は多くの方々に参加され、楽しんでいただけたとのことです。

地域を盛り上げようと奮闘しておられる方々の思いに触れ、共に活動できたことは生徒たちにとって、とても有意義な体験になったと思います。

また、地域のために自分の力を発揮したいとの思いをもって、ボランティアに参加する中学生がたくさんいることを大変うれしく、そして心強く思います。



「丹後夜の市2026」のボランティアの様子紹介

「丹後夜の市2026」のボランティアは8月8日に準備、10日は片付けという内容であり、準備に15名、片付けに11名の中学生が参加しました。峰山総合運動公園サブグラウンドという酷暑の中での作業ではありましたが、中学生たちは指示をしっかりと聞き、積極的に活動しており感心しました。

準備の様子



まずはじめにテントの立て方をレクチャー！



大人のひととグループを組んでテント設営開始！



みんなで力を合わせると重いテントもか〜るがる？



いったん休憩！日陰で水分を補給して体力回復！！

「紐を結ぶために上を向くのはきついな〜」



テーブルにシートをかけクリップでとめています。



2時間かけてようやく作業が終了！実行委員の方から感謝が伝えられました。

ステージの前の椅子や飲食用のテーブルもスタンバイOK！



峰山中のボランティア隊長の教頭先生からねぎらいの言葉がかけられ活動が終了しました。



片付けの様子

けがをしないよう声をかけ合い屋根や枠組みを外しテントを解体。手際よく進み作業は1時間で終了！



最後は、ゴミ拾いです。食べかすや空き缶等をくまなく探し拾いました。



最後に実行委員の方が中学生に感謝を伝えられ、また来年も協力してほしいと語られました。